立命館大学 国際寮 レジデントメンター（RM）

RMの声

宇多野
常盤
大将軍

2026年度 春学期を終えたRM16名の振り返りと、
退寮生アンケートから届いたリアルな声。

「RMは何でも解決する人じゃない。寮生が関わるきっかけをつくる人なんだと気づきました。」

— 大将軍RM

16/16人
異文化理解・多文化共生に貢献できた

15/16人
他のRMと協力して活動できた

13/16人
主体的に行動できた

※RM振り返りフォーム（2026年度春学期・16名回答）で「強くそう思う」「そう思う」と答えた人数

やってよかった、と思えた瞬間

退寮する寮生からの手紙

同じ階の留学生から手紙をもらいました。「RMがいたから、寮で安心して暮らせた」。本当に寮生のためになっているのか悩むこともあったけれど、この言葉で自分の行動に自信が持てました。

— 大将軍RM（1年目）

「まだ住み続けたい」

誰も仲間はずれにならない寮を目指して、ラウンジやキッチンで毎日声をかけました。ほとんど部屋から出なかった留学生がラウンジの常連になり、契約を延長してくれたんです。

— 常盤RM

日本語教室を14回

参加者のレベルや反応を見ながら毎回内容を工夫。寮生が日本語を学ぶだけでなく、日本人学生や他の寮の学生と出会う場にもなりました。続けたことで、自分の成長も実感しています。

— 大将軍RM

地域とつながるバドミントン

近所の小学校で地域の方と寮生がバドミントン。連絡調整やポスターづくりを担当し、参加者は「多すぎる」と言われるほどに。予約の仕組みも自分たちでつくりました。

— 大将軍RM

※RMの声は振り返りフォームの回答を、趣旨を変えずに要約・編集して掲載しています。

裏面へ →

正直に言うと、大変なこともある。

それでも先輩RMたちは、仲間と相談しながら自分なりのやり方を見つけています。

授業・バイト・就活との両立

試験前はLDKに行けないことも。でも「勉強しながら同じ空間にいるだけでも交流になる」と気づきました。（大将軍RM）就活中は時間が限られる分、みんなが後回しにする仕事を進んで引き受けました。（大将軍RM）

英語に自信がない

話しかけられると緊張してしまうほど英語が苦手でした。イベントに積極的に参加し、先輩RMの話しかけ方を参考にしながら、会話を続けることを目標にしています。（大将軍RM・1年目）

共用キッチンのルール

食器の放置や掃除当番の滞りは、どの寮でも話題に。グループLINEだけでは届かないので、ドアにメモを貼る、担当する寮生を分ける、入寮時に丁寧に説明するなど、RM同士で工夫を重ねています。

初めてで、わからないことだらけ

1学期目は先輩RMに頼ることが多かった。次は自分が後輩RMに教えられる存在になりたい。（大将軍RM）引き継ぎのマニュアルづくりも、RMたち自身が進めています。

寮生から見たRM

2026年夏 退寮生アンケートより（英語回答を和訳・要約）

一番よかったのは、ここで出会った人たちと、到着した初日から温かく迎えてくれたRMたち。

— 常盤 退寮生

管理人さんやRMがいつでも助けてくれて、寮での生活がずっと温かいものになりました。

— 大将軍 退寮生

RM主催の「こんばんwhat's up」が本当に楽しかった。このイベントはぜひ続けてほしい！

— 大将軍 退寮生

寮生がRMに期待していること

・すでに仲のよい人だけでなく、新しく来た寮生にもRMから声をかけてほしい
・騒音や掃除のトラブルは、こじれる前に早めに声をかけてほしい

次は、あなたが寮の「きっかけ」をつくる番。

1・2回生も、留学前・留学後の学生も大歓迎。英語力や経験より、寮生と一緒に寮をつくりたいという気持ちを大切にしています。

募集要項・応募方法は STUDENT PORTAL「お知らせ」へ